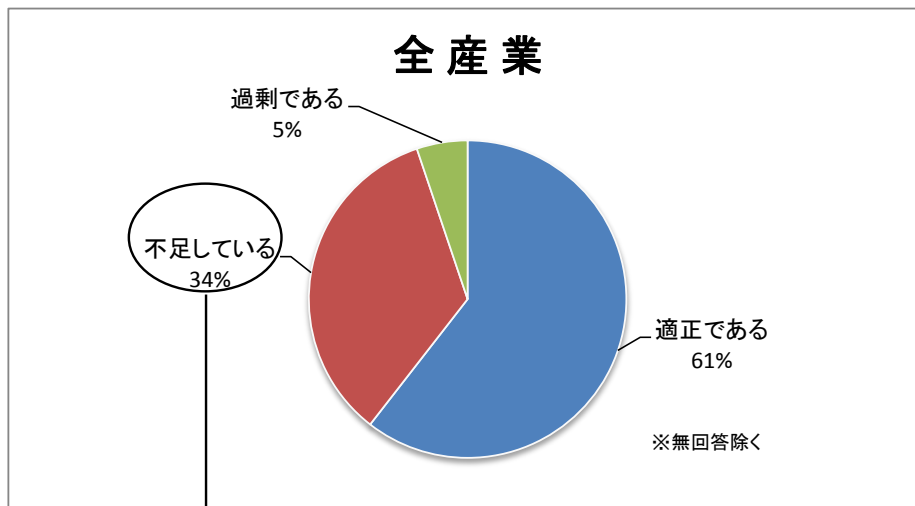


【回収状況】

	調査対象数	調査票回収数	回収率(%)
建設業	98	81	82.7
製造業	98	84	85.7
卸売業	98	76	77.6
小売業	97	72	74.2
サービス業	98	79	80.6
合計	489	392	80.2

(1) 自社における現在の仕事量に対する人手の過不足状況について。

回答数	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
不足している	106	35	22	7	16	26
適正である	187	21	44	45	39	38
過剰である	16	1	5	5	0	5
無回答	85	24	14	19	17	11
計	394	81	85	76	72	80

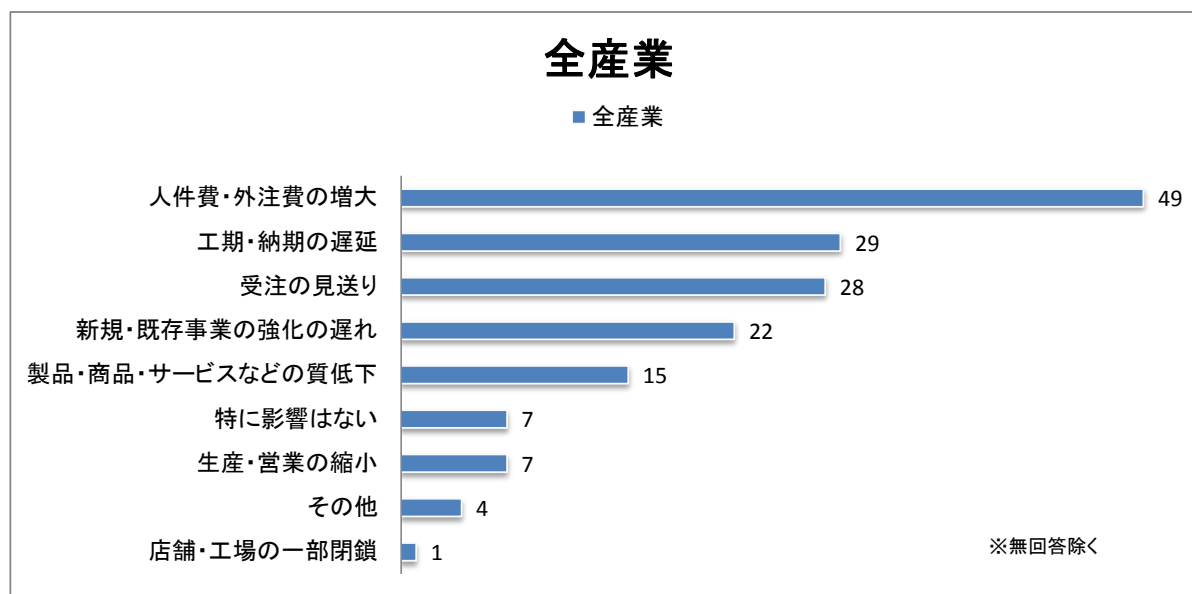


業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
不足割合	61.4%	31.0%	12.3%	29.1%	37.7%

(2) (1)で「不足している」と回答した方にお伺いします。

人手不足の具体的な影響について、選択肢からお選びください。(複数回答可)

回答数	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
受注の見送り	28	14	6	1	3	4
工期・納期の遅延	29	10	11	1	1	6
人件費・外注費の増大	49	26	9	3	5	6
製品・商品・サービスなどの質低下(不良率の上昇、クレームの増加等)	15	2	2	2	5	4
新規・既存事業の強化の遅れ(設備投資の見送り、新分野進出の中止等)	22	3	6	4	5	4
生産・営業の縮小(生産ラインの一部停止、営業日や営業時間の短縮等)	7	1	3	0	0	3
店舗・工場の一部閉鎖	1	0	0	0	1	0
その他	4	0	0	1	3	0
特に影響はない	7	1	0	0	2	4
無回答	279	46	58	66	54	55
計	441	103	95	78	79	86



【企業の声（抜粋）】

- 若手の人材不足。(土木建築工事業)
- 人手不足は深刻な問題ですが、将来的に建設業界の好調が継続することはないので、職員の採用を一気に増やすことはできません。(土木建築工事業)
- 人材不足から人件費の増加や外注費の増加を余儀なくされ、受注数と採算があわない。(とび工事業)
- 求人を出しているが、今年は応募が減少。是非、人材がほしいが、いろいろなサイトから声がかかるが、効果はどうか、疑問点も多い。(冷暖房設備工事業)
- 4月には、パート従業員の時給も昨年に続けて賃上げして人員の確保に努め、生産能力を高めたい。(パン製造業)
- 先行き見通しが不明なため、従業員増をできない状況にある。(オフセット印刷業)
- 今現在、人員は適正であるが、将来のことを考えると徐々にでも人員の確保は必要だと思っている。
(建設用金属製品製造業)

- リーマン後、社員採用を控えていましたが、若い社員を入れ、育てていかないと40代、50代ばかりでは、先を考えると発展がないと思い採用した。（集積回路製造業）
- 現在社員は不足しているが、急がず質を見極めた採用を考えている。（食料・飲料卸売業）
- 人材確保はますます厳しく、今後の新規拡販に影響すると思われます。（自動車部分品・附属品卸売業）
- 求人費が増大しています。（靴小売業）
- 人手不足問題は現在何とか総要員は確保しているが、特殊資格者や熟練技術者の補充は難航です。（燃料小売業）
- 人員は主にサービス面で不足しているが、思うように補充・採用が進みません。（旅館・ホテル）